

ゴミ処理場の規模に驚く

薄市小がゴミ処理を学ぶ

子どもたちにゴミ処理について学んでもらおうと9月10日(日)、薄市小学校4年生9人がつがる市稲垣町にある西北五環境整備事務組合・西部クリーンセンターの焼却炉などの見学をしました。

センター職員から、施設や家庭で気をつけて欲しいことなどの説明を受けた後、質問タイムが設けられました。児童たちの「大変なことはどんなときか」の問いに対しては、「夏場に水分の多い果物のゴミが多く、燃えにくくなっている。水切りをお願いしたい」と答えていました。17日(火)は武田小、26日(休)は中里小が見学を行いました。



中里道場が団体の部制す

第9回東日本小中学校相撲大会

町相撲協会主催による東日本小中学校相撲中泊大会が9月1日(日)、町相撲場で行われ、出場した児童・生徒が団体の部や個人の部で争いました。また、今回は選手層拡大を図るため名称を「青森県・北海道」から改め「東日本」として開催。秋田県からも参加がありました。時々強い雨が降る天候となりましたが、会場は熱気に包まれ、応援に来た父兄たちが大きな声援を送っていました。この大会に出場した中泊道場所属の選手も活躍をみせました。

- 小学校団体 1位 中泊道場A(成田花道、神歩武、成田力道、秋元理希)
- 小学校個人 1年の部3位 秋元理希 / 2年の部優勝 奈良昂 / 3年の部優勝 成田力道 / 4年の部2位 高山日那大 / 5年の部3位 成田姫星 / 6年の部3位 神歩武、成田花道

食の大切さを感じて欲しい

給食おもいやり隊が薄市小児童と交流

学校給食へ食材を提供する「給食おもいやり隊」メンバーが8月30日(金)、薄市小学校5年生15人と一緒に給食を食べながら交流をしました。この日のメニューは、「夏野菜カレー」で地元産のトマトとナスが材料として使われました。カレーは人気のあるメニューでもあり、おかわりをする児童が続出しました。メンバーの佐藤イネ子さん、葛西昭子さん、田中恵津子さん、田中千鶴さんの4人は、「地元の食材を少しでも多く食べてもらいたい。食の大切さを感じて欲しい」と児童たちに伝えました。児童たちは「今日教えてもらったことを意識して給食を楽しみたい。提供者に感謝の気持ちを忘れず、給食をいただきたい」などと話しました。



水路の役割などを学ぶ

水と大地の探検隊

武田小学校5年生の13人が9月13日(金)、「水と大地の探検隊」として十三湖土地改良区や県西北地域県民局などの説明を受けながら、田んぼの水管理や生態系観察を行いました。田んぼの管理では、芦野頭首工や若宮ポンプ場を見学し、岩木川からの水をひく仕組みや水位の調整などを学びました。また、森林技術・支援センター職員が森林の役割について説明し、自然の大切さを伝えました。最後に水路にいる生き物とふれあい、大きな鯉を持ち上げたりして楽しみました。

平和を祈り遺族が献花

町戦没者追悼式

戦没者追悼式が8月29日(休)、中央公民館横の慰霊碑前で行われました。式には、遺族会や関係者約100人が参列し、町の発展と平和を祈りました。

追悼式では、小野町長が「国のために命をかけた戦争が終わり68年が経過した。行政と町民が一体となって安全安心で魅力あるまちづくりへ努力していく。今後とも見守っていただきたい」と式辞。続いて、中里遺族会佐々木会長が「戦争を知らない世代が増えたが、我々の父たちが、今の日本を築いてくれた。その国と中泊町の発展を祈る」と追悼の辞を述べました。献花では、中里、小泊遺族会のみなさんが慰霊碑に献花しました。



自宅で100歳を祝う

桑村ツヨさん100歳顕彰

今年度6人目の100歳顕彰は、芦野地区の桑村ツヨさん。100歳となった8月30日(金)の誕生日、家族が集まった自宅にて町長から顕彰状と祝い金が手渡されました。

桑村さんは、つがる市館岡地区に生まれ、結婚で芦野地区に移り住み、子ども7人、孫5人、ひ孫6人、やしやご5人に恵まれました。若い頃は、農作業に従事。そのまま畑仕事が趣味となりいろいろな作物を栽培したそうです。この日は、記念写真の撮影後に誕生日ケーキを家族と一緒に味わいました。桑村さんは現在も家族やヘルパーの支援を受けながら自宅で暮らし、相撲番組や歌謡ショーをみることが好きだそうです。家族の話では「氷川きよしのファンで、夜遅くまでテレビに夢中になっているときもある」とのこと。町の100歳顕彰者は桑村さんで26人となりました。



埼玉・東京へ向けて

青森県フェア

東京都(11月)や埼玉県(10月)で行われる青森県知事の県産品トップセールス。9月11日(水)はその最終調整も兼ねて青森市のイトーヨーカドーで行われました。

同店では2回目となり、BBシスターズ(健康ダンス「べえ子ちゃん」)も知事とともにフェアを盛り上げました。決め手くんといっしょにダンスを披露し、生鮮食品コーナーでは、県産品を試食しコメントするなどPR活動をしました。



クロマグロ水揚げ

マグロのはえ縄漁船が荷揚げ

小泊漁港で9月12日(木)、海のダイヤとも呼ばれるクロマグロの水揚げがありました。はえ縄漁で釣りあげられたクロマグロは88kgを超え、人と並んでも写真のおりなかなかの大きさで、関係者も喜んでいました。小泊港では30kgクラスが多く、100kg近くになるとフォークリフトを使って荷揚げされるそうです。

